

報 身障協安曇野

第 38 号
令和 7 年
3 月 1 日発行
安曇野市身障協会



年頭あいさつ

会長 丸山 近志

令和七年が穏やかに明けました。会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

昨年を振り返ると能登半島の地震、豪雨など自然災害による甚大な被害が発生しました。

被害に遭われた皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さて、最近では新型コロナウイルスやインフルエンザ・マイコプラズマ感染症が報じられていますが日々の感染予防対策で自分の体は自分で守ることを心掛けてください。

令和四年三月に制定された「長野県障がい者共生条例」ですが共生社会作りのためには真に有効な制度であります。

しかし、この制度は障がい者自身が意思表示を発することによって初めて効果が発生すると思っております。障がい者の有無によって分け隔てられることなく相互に人格と個性を尊重しあいながら、支え合い、活かし合う社会の実現を目指す制度です。

私たち障がい者一人ひとりと身体障がい者福祉協会が声を出し躊躇することなく声を挙げていかなければなりません。

どうぞ会員皆様のお力をお貸しください。

昨年度、長野県身体障害者福祉協会の声で大きな動きがありました。

松本市身体障害者福祉協会が長野県身体障害者福祉協会から脱退しました。ほか、岡谷市・下伊那郡も脱会しました。

現在の中信地域では、大町市・木曽郡（二町）、東筑摩郡（二村）、安曇野市と所属郡市が減少してしまいました。

しかし、そうした中でも安曇野市身体障がい者福

祉協会は例年と変わりになく事業を重ねています。会員皆様が健康で元気に過ごしてくれているおかげだと感謝しております。

令和七年度も四月から始まります。

安曇野市身体障がい者福祉協会の大きな事業として、七月に会員家族ふれあいの旅を計画、また各支部でも旅行の実施があるようです。松本市やまびこドームでの松本圏域障がい者スポーツ大会に参加、ポッチャ交流会・料理教室・研修会などの事業を行って行く予定です。

また、令和七年度は役員改選の年でもあります。

結びになりますが、二〇二五年が会員皆様にとって実り多き年になることを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

また、令和七年度は役員改選の年でもあります。結びになりますが、二〇二五年が会員皆様にとって実り多き年になることを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

全国障がい者 スポーツ大会に参加して

三郷支部 藤 牧 和 司

全国障

がい者

スポーツ大

会には障が

いのある

選手が競

技などを

通じて、

スポーツ

のたのしさを体験する大会です。ドキドキするやら、

どんな競技ができるかしらばいいでした。

伊万里の競技場でフライングディスク公式練習を

しました。残念ながら六位に終わってしまいました。

午後はフライングディスクの本番です。緊張しまし

たが、二位になりなんとかメダルを取ることができ

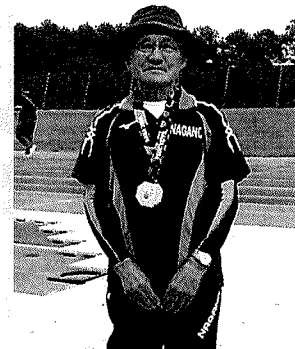


ホッとしました。皆様の励まし本当にありがたうございました。安曇野市身体障害者福祉協会と三郷支部から激励金をいただき頑張ることができました。ありがとうございます。

また、二〇二八年長野県全国障がい者スポーツ大会があります。今から楽しみです。

全障スポーツ大会に参加して

三郷支部 市 川 光 雄



二〇二四年一〇月二七日、佐賀県鹿島市陸上競技場で行われた第三回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」アーチェリーに出場してきました。当日は天候にも恵まれ、ほぼ平常心で七二本（三六本×二）の矢を射たと思っております。結果は五九八点の第二位でした。一位の選手は、私が練習でも出したことがない六三三点で大会新記録を取るくらい上手な選手で、勝てる相手ではありませんでした。全国大会となると、上には上の選手がいると思わされた大会でした。

足を無くしてスポーツと無縁と思っていた私が、

身体障害者及び健常者の区別が無く、全く同レベルで出来るアーチェリーと出合って四〇年くらいになります。

生涯できるスポーツと思って、土日祝日や天候などに関係なく年中弓を射ち続けております。アーチェリーを体験してみたいと思われ

方、身体に障害が有る無しの関係はありませ

ん。安曇野市高家アーチェ

リー場所があります。

お正月を除く土日祝日の一〇時から年中開いておりますのでぜひアーチェリーを体験しに来てみてくだ

さい。



研修会の報告

森下 右里子

令和六年度安曇野市身体障害者福祉協会の研修会が、十一月二十五日、二十六日の二日間にビレッジ安曇野にて行いました。
本年度は、高齢者の交通安全について、安曇野警察署交通課免許・規制係・係長 高木啓様に講師をしていただきました。

まず、事故を起こしやすい人 ①せっかち軽率な人 ②見込みが甘い人 ③短気な人 ④自分本位な人
一番多い事故においては全体では①追突②出会い頭③人と車の事故

高齢者の事故では、一番多い事故、出会い頭、次に追突、次に人と車の事故になるそうです。そこで、交差点での運転の注意として車間距離を充分取ること、二秒間隔ゼロ・イチ・ニとかぞえるとよいそうです。出会い頭は油断をしない、また、ミラーの多い交差点は事故の多いところサインになるそうです。交差点では、停止線の上には止まる、それから安全確認をしてください。交差点では、右折には優先権はないと心に言い聞かせておいてください。

これから先、運転免許証を返納した時など自転車に乗る方もいると思いますが、自転車の運転にも規則が変わり、スマートフォン、携帯電話のながら運転は禁止です。酒気帯び運転禁止です。義務にはなっていないかもしれませんが、なるべくヘルメットを着用しましょう。
事故を起こした時、①運転をやめて、相手に声を掛ける②負傷者の救護③警察署への届け出。
これからの、皆さん安全運転を心がけましょう。

穂高支部の旅行

山崎 清

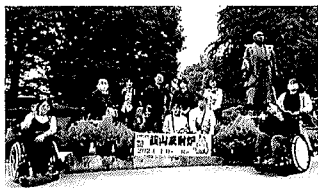
穂高支部のふれあい旅行が十月八、九日に行われました。最初の希望では熱海温泉でしたが、バリアフリーのトイレ、洋室のホテルが見つからず、伊東温泉に変更になりました。

熱海地区ではありませんが、眺めもよく伊豆らしい景色のホテルでした。熱海温泉、伊東温泉両温泉ともに朝食は、バイキング料理が一般的のようで私自身も久しぶりのバイキングでした。皆さんに手伝って頂き美味しく食べることができました。

今回の旅行には初めての参加者が八人いました。和気あいあい楽しい旅で、夜の宴会で皆さん次回の旅行の話で盛り上がりあつたと言間に時間が過ぎました。

二日目の朝は、雨がひどくバスに乗り込むにも大変でした。首都高速をおり都内に入るところには、雨もあがり読売新聞本社の手前では正月の箱根駅伝のスタート、ゴール地点をテレビで見ていたので、ふと思ひ出してしまいました。

皇居外苑をはじめ国会議事堂など車窓からの都内観光も良かった旅行でした。



豊科支部一泊家族旅行

森下 右里子

今年の豊科支部の家族旅行は九月九日・十日伊良湖に行ってきました。伊良湖に向かう前に、岡崎市で八丁味噌の里を見学し、お昼には美味しいうなぎを頂きました。岡崎城・三河武士の館を見学して、伊良湖リゾートコンベンションホテルに向かいました。どの部屋からも大浴場も海が望めました。夕食もとても豪華で美味しく頂きました。おなががいっぱいで残してしまいたい事をしてしまいました。

次の日は、まずは伊良湖畔に行つてその後は海の香りを楽しんで、皆さん楽しみの道の駅でのお買い物、美味しそうなメロン、海産物を満喫しました。昼食はラグーナテンボス蒲郡で浜焼きバーベキュー・買い物と楽しみました。

来年度は、安曇野市身体障害者福祉協会全体で一泊家族旅行に行くこととなりました。会員皆様の参加をお待ちしております。



ポッチャの講師

二年間に渡り安曇野市立豊科東小学校のクラブ活動のお手伝いを行いました。お礼のメッセージが届いたので紹介致します。(一部抜粋)

ポッチャの先生、
先生の授業が
楽しかったです。
2年3組 あい

ポッチャの先生、
先生の授業が
楽しかったです。
1年3組 いしづり

ポッチャの先生、
先生の授業が
楽しかったです。
6年3組 大矢

ポッチャの先生、
先生の授業が
楽しかったです。
4年3組 大矢

ポッチャの先生、
先生の授業が
楽しかったです。
1年3組 大矢

ポッチャの先生、
先生の授業が
楽しかったです。
6年3組 大矢

ポッチャの先生、
先生の授業が
楽しかったです。
5年3組 大矢

ポッチャの先生、
先生の授業が
楽しかったです。
1年3組 大矢

編集後記

最さ寒さも彼岸までと言いますが、春の陽気から真冬並み後戻り、身体が悲鳴をあげています。
令和六年度の安曇野市身体障害者福祉協会総会の日時が決まりました。
安曇野市身体障害者福祉協会令和6年度総会
令和7年5月17日(土) 堀金公民館3階 第一会議室
受付 午後1時開始 開始1時30分 たくさんの方の参加をお待ちしております。

補助犬の役割

中村 豊江

あつという間に過ぎた一年を振り返りながら、年の瀬を感じる、12月14日【介助犬を知ろう】という演題で講演・デモンストレーションが安曇野市役所本庁舎で開催された。・手足などに障がいのある方のパートナーであり体の一部である介助犬。
・介助犬についての考え方や接し方について理解を深め、共生社会の実現を目指しましょう。
という内容でしたので文字でしか知らない【介助犬】についての話を聞きに行つた。

身体障害者補助犬には、盲導犬・聴導犬・介助犬の3種類で、それぞれの実働数は盲導犬796頭・聴導犬53頭・介助犬59頭(2024年4月1日現在)です。

講演会の中で印象に残ったのは、やはりデモンストレーションです。特に聴導犬の役割です。

玄関チャイムがなっている
ユーザーに知らせなきゃ→トントン
でもユーザーは寝ていて起きない
どうしよう?もう一度玄関へ行き来客を確かめて、
ユーザーに知らせる→トントン
やっとユーザーが目覚まし《なに?》を手話で伝える。

聴導犬は玄関チャイムがなっているよと仕草で教えて玄関へ誘導する。
そんな聴導犬のその場の状況に合わせて行動する姿を見せていただいた。

他にも介助犬は、ユーザーから冷蔵庫から飲み物を持って来てと言われて、冷蔵庫の取っ手につけてあるヒモを引き冷蔵庫の扉を開けて飲み物を届ける。などの様々な場面でのデモンストレーションを見せて下さった。

2002年に施行された『身体障害者補助犬法』で、身体障害者の方が補助犬を伴って、不特定多数の方が出入りするスーパーやレストランなどの施設を自由に利用できるようになったことも嬉しいと感じました。

補助犬については、別紙添付をお読みください。(注:ユーザー→補助犬使用者)

